

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **08088841 A**

(43) Date of publication of application: **02 . 04 . 96**

(51) Int. Cl

H04N 7/14
H04B 1/38
H04Q 7/32
H04N 5/225

(21) Application number: **06263034**

(71) Applicant: **ADO MANIYUARU:KK**

(22) Date of filing: **19 . 09 . 94**

(72) Inventor: **HAYASHI NOBUO**

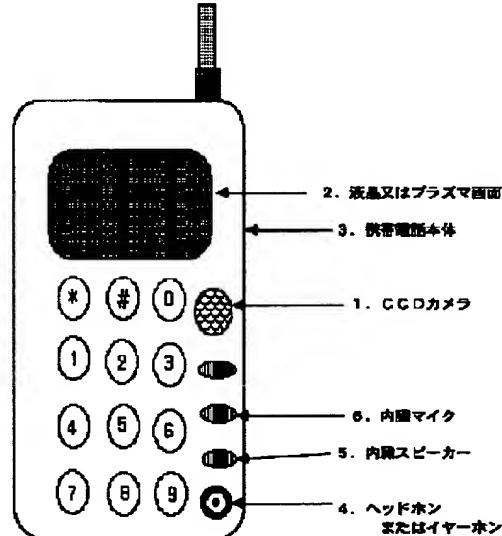
(54) PORTABLE VIDEO TELEPHONE

(57) Abstract:

PURPOSE: To perform communication while viewing the expression of a called party anywhere by attaching a CCD camera and a liquid crystal or plasma screen to a portable telephone, using a compression technique, outputting moving pictures and performing the communication.

CONSTITUTION: The CCD camera 1 and the liquid crystal screen or the plasma screen 2 are attached to the portable telephone 3, the compression technique is used and the communication is performed with the called party while outputting still pictures or the moving pictures. Also, when it is hard to listen to voice, an earphone or a headphone 4 provided in this portable video telephone 3 is pulled out and the voice is listened to. Thus, the communication is performed while viewing the face of the called party anytime and anywhere and telephone charges become inexpensive since the compression technique is utilized.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-88841

(43)公開日 平成8年(1996)4月2日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号 庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 04 N 7/14

H 04 B 1/38

H 04 Q 7/32

H 04 N 5/225

Z

H 04 B 7/ 26

V

審査請求 未請求 請求項の数2 書面 (全2頁)

(21)出願番号

特願平6-263034

(22)出願日

平成6年(1994)9月19日

(71)出願人 594177542

株式会社アド・マニュアル

東京都新宿区大久保2-1-3 プラザ新
大樹南棟802号

(72)発明者 林 信夫

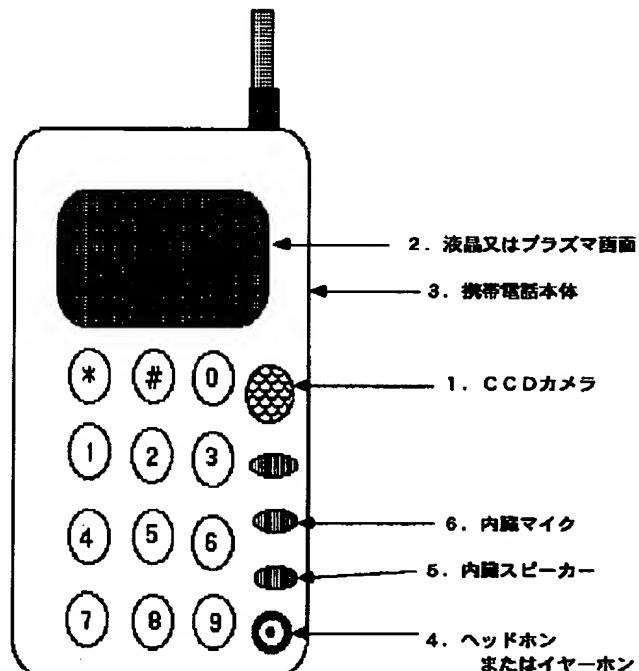
東京都板橋区中板橋12-3-306号

(54)【発明の名称】 テレビ携帯電話

(57)【要約】

【目的】従来の携帯電話にテレビをとりつけて、圧縮技術により、顔の画像の圧縮をして転送し、相手の顔をみながら、いつでもどこにいても、相手と話ができるなどを、目的とする。

【構成】従来の携帯電話にCCDカメラをとりつけ、さらに液晶画面などをとりつけて、CCDからとりいれた画像を圧縮技術を利用し、相手におくり、それを液晶画面などに出力する。さらに、声が聞き取りにくい時は、テレビ携帯電話に備え付けのイヤホン又はヘッドホンをとりだして、相手と会話ができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯電話にCCDカメラと液晶画面あるいはプラズマ画面を、とりつけて、圧縮技術を用い、静止画あるいは動画をだしながら相手と交信する。

【請求項2】 声が聞き取りにくい場合テレビ携帯電話にそなわっているイヤホン又はヘッドホンを引き抜いて聞けるようとする。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明はいつどこにいても相手の顔をみながら交信ができ、圧縮技術を利用しているので、電話代も安くあがる。

【0002】

【従来の技術】 従来の携帯電話は声だけのものであった。

* 【0003】

【発明の効果】 どこにいても相手の表情をみながら、交信ができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の正面図

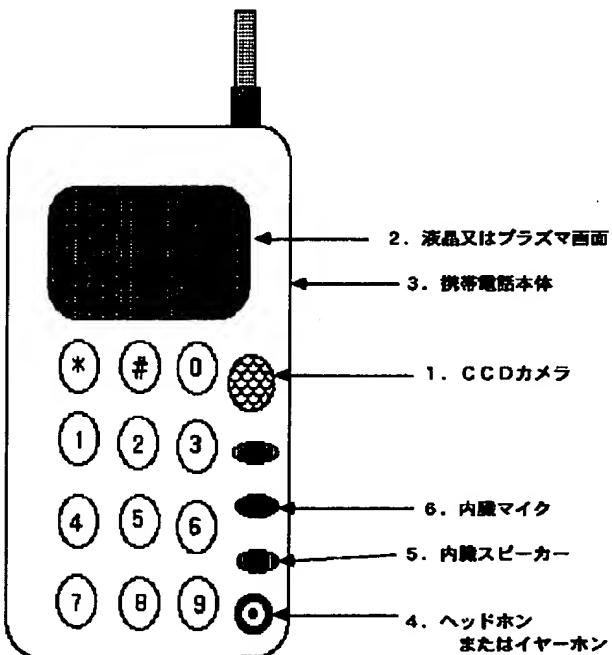
【図2】 本発明の使用している図

【符号の説明】

- 1. CCDカメラ
- 2. 液晶又はプラズマディスプレイ
- 3. 携帯電話本体
- 4. ヘッドホンまたはイヤホン（必要な時引き出し可能とする）
- 5. 内臓スピーカー
- 6. 内臓マイク
- 7. ヘッドホンまたはイヤホン
- 8. テレビ携帯電話本体

*

【図1】



【図2】

